



### 【請願の趣旨】

新型コロナウイルス感染症が増え始めてから2年余り、ご高齢者の命を守るため、もしくは経済を守るため、子ども達は様々な制約を我慢してきました。学校の一斉休校や給食の黙食、マスクの着用など、子ども達にとっては大変な状況が続いた2年間でした。

特に成長期の子ども達にとって、マスクの着用は友達や先生の表情が見えないことによる発育への影響や熱中症の恐れ、体育の時間にも着用し低酸素状態による脳への影響や死亡リスクなども懸念される場所です。2021年2月には、大阪府高槻市でマスク着用をして体育の授業を受けていた児童が、突然体調が悪化して亡くなる事故が起きました。因果関係は不明なもの、保護者の中で不安が増大しています。これから熱中症が心配な季節ですし、より一層不安です。

また、身体的心理的な事情でマスクを着用できない子どももおり、学校に行きづらい状況が生まれていることも心配されます。中には不登校となる児童・生徒も増加し続けていることも注目すべき深刻な状況と考えております。

学校給食に関しては、蔓延防止措置などが解除された際、大人が会食制限を解除されている時も子ども達は席を前向きにしたままの黙食をずっと続けています。大人がグループで会食をしているのに、子どもだけがグループで食べてはいけないという状況を私たちは論理的に説明することが出来ません。

コロナ禍において、子ども達を取り巻く教育環境は、多くの制限が残されたままになっています。そこで子どもの健全な育成とすべての子ども達への教育環境を守るために、5点の対策を求めます。

### 【請願の内容】

#### 1. マスク着用は本人・保護者の自由選択としてください。

マスク着用は任意とし、本人及び保護者の意思を尊重してください。

マスク着用により酸素濃度の低下による神経への影響、集中力低下、頭痛、歯並びの悪化、歯周病といった身体的な影響、ならびに様々な精神発達への影響も示唆されています。

#### 2. マスク着用非着用を問わず、いじめや偏見、差別が起こらない様、指導を徹底してください。

教育現場で行われている「実質的強制」、先生方や他の生徒からの指摘により、マスクを外したくても外せない状況になっています。マスク着用は個人の自由選択であり、選択の権利があることを子ども達も理解していないのが現状です。多様性を認め、お互いが尊重し道徳心を育む教育の場を設けて頂きますようお願い致します。

#### 3. 大人の会食制限及び解除に合わせ、学校給食も同様の対策に緩和してください。

#### 4. 体育の時間等運動時にはマスク非着用を徹底し、登下校中においてもマスク非着用を推奨することを学校に通知するとともに、地域住民にも周知を行ってください。

#### 5. 経済や高齢者の命を守るために、子ども達の学校生活に過剰に制約をかけるのではなく、子どもの成長や健康、教育環境を第一に考える学校運営を行ってください。